



学校だより

白樺の学舎

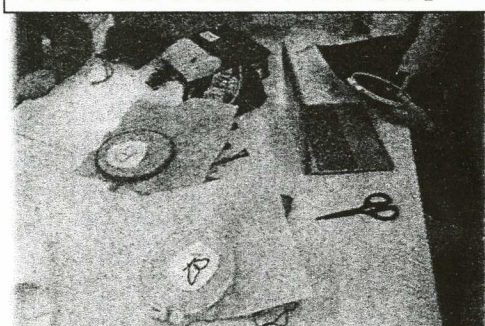
松本市立波田中学校 令和7年11月21日 NO.7

探究が動き出しました ～ワクワク・やってみたい～

3学年の総合的な学習の時間では、グループ探究が始まっています。生徒が考えた探究テーマに4～5人程度のグループに分かれて、学習を進めています。具体的な探究テーマは、「古典を現代人のノリで翻訳したらどうなる?」「マシュマロはどう焼いたら一番おいしいか?」「きれいな泥団子を作るには?」「夜の学校って怖い?」「自分たちでゲームを作ろう」「ストレス軽減方法」「実現可能なドラえものの道具は?」「睡眠の質を他変える方法」「人気のあるアニメの共通点」「『つまらない』時と『楽しい』時の体内時計」「近所の人『おかえり』にどう応えるのが正解?」「人気ストリートブランドはどうして人気なの?」「声が良い人の特徴とそのコツは?」「シャインマスカットボンボンを作るには?」などです。「調べる・やってみる・新たな問いや疑問」が連続する学びになっています。まさに自ら学び続ける姿が見られます。



「泥団子にひびが入ってしまうけれど、どうすればいいのかなあ」



人気ブランドの探究をしていく中でロゴ作りが始まりました

交流給食 ～生産者さんに感謝しながら～



田中さんが生産された保平(ほだい)かぶをおいしくいただきました



生産者の方と一緒に食べる給食は一段とおいしいです

3年生を中心に学校給食に食材を提供している生産者さんとの交流が行われました。保平かぶ、キャベツ、長ネギ、米、にんじんを提供してくださっている5名の皆さんに来校していただき、各教室で一緒に給食を食べたり、生産者の皆さんのお話をお聞きしたりして交流しました。

生徒の感想からは「田中さんが作ってくれたかぶがとても美味しかったです。私たちが残さず給食を食べることで、生産者さんも農業を続けられて、どちらも笑顔になれる win-win な関係にあってなんかいいなと思いました。」という言葉があり、作った人の想いに触れ、農業について理解が深まり食を通して気持ちがつながる心地よさを感じることができました。短い時間ではありましたが、地域とつながることへの意欲を高めることができたことでしょう。